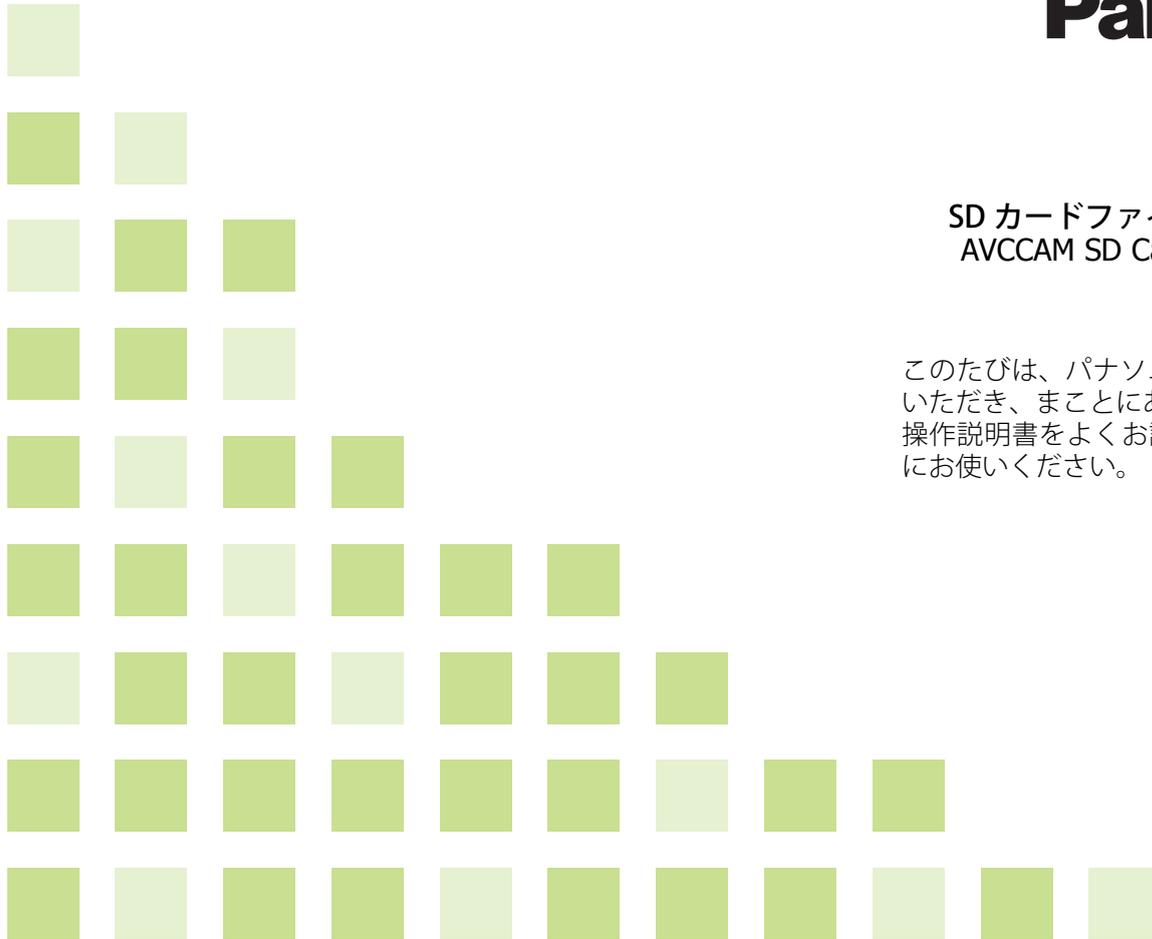


操作説明書

SD カードファイル復元ソフトウェア
AVCCAM SD Card File Recovery V1.3
for Macintosh®

このたびは、パナソニック製品をお買い上げ
いただき、まことにありがとうございます。
操作説明書をよくお読みのうえ、正しく安全
にお使いください。



はじめに

はじめにお読みください	3
概要	4
AVCCAM Recovery でできること	4
動作環境	5

オペレーション

AVCCAM Recovery の起動と終了	6
復元ファイルの確認	8
ソフトウェアを終了するには	9

はじめに

はじめにお読みください

■ 本書の内容について

- 本書での Macintosh® の説明は、Mac OS X 10.8 の画面を使用して行っています。
- ソフトウェアのバージョンやパーソナルコンピュータの使用環境などにより、本書の説明内容・画面と実際の内容・画面が一致しないことがあります。あらかじめご了承ください。

■ 本書の用語について

- 本書では一部、AVCCAM SD Card File Recovery のことを「AVCCAM Recovery」と省略して記載しています。

■ 著作権

- お客様が記録・編集されたものを、個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- Macintosh®およびMac OS Xは、米国Apple Inc. の登録商標です。
- Intel®およびCore™は、Intel Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- “AVCHD”およびAVCHDロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- 米国 Apple Inc. のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

概要

AVCCAM Recovery ができること

AVCCAM Recovery は、AVCCAM で SD カードに記録したファイルを復元するソフトウェアです。

※主に以下の場合にファイルを復元できる可能性が高いです。

- 本体でクリップ・静止画ピクチャを削除した直後
- パーソナルコンピュータでファイルを削除した直後

- 本ソフトウェアを使用しても、データが復元できない場合があります。
- 本ソフトウェアは、Panasonic 製 SD/SDHC/SDXC カードについてのみ動作を確認しています。他社製の SD/SDHC/SDXC カードについては動作を確認しておりませんので、他社製の SD/SDHC/SDXC カードをご使用時の動作に関しては対応しかねる場合があります。
- 当社は、本ソフトウェアの使用によってお客様またはその他の方に生じた損害（データの損失を含みます）について、一切責任を負うものではありません。
- カメラレコーダーの使用方法については、カメラレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- 状態によっては、インデックス、ショットマーク、各種メタデータは復元できない場合があります。
- 長時間連続記録したクリップは、複数のクリップに分割して復元されます。
- 処理直後でない場合でも復元できる場合もあります。

- AG-HMC80 シリーズの DV モードでカードフォーマットした直後は、ファイルを復元できる可能性が高いです。
- AVCCAM の AVCHD モードや、AG-HMC80 シリーズ以外の AVCCAM の DV モードでカードフォーマットした場合、ファイルは復元されません。
- AG-3DA1 のファイルを復元した場合、L/R 情報は復元されないため、AVCCAM Restorer を使って AG-3DA1 で再生できるフォーマットへ修復できません。MTS ファイルを再生できるアプリケーションをご使用ください。
- AVCCAM で生成されたデータであっても、パーソナルコンピュータなどを使って SD カードにコピーしたデータは、復元できない場合があります。
- 本ソフトウェアは、AVCCAM シリーズで記録した SD カードについてのみ動作を確認しています。その他の機器で記録した SD カードについては動作を確認しておりませんので、他の機器で記録した SD カードに対する動作に関しては対応しかねる場合もあります。

動作環境

■ AVCCAM SD Card File Recovery

対応 CPU	Intel® Core™ Duo 2.0 GHz 以上の CPU（互換 CPU を含む）
対応 OS	プリインストールされた各日本語版 Mac OS X 10.8 (Intel Mac)

- 推奨環境のすべてのパーソナルコンピュータについて動作を保証するものではありません。
- 1台のパーソナルコンピュータに2台以上のUSB機器を接続している場合や、USB ハブや USB 延長ケーブルで接続した場合は、動作を保証しません。
- マルチブート環境での動作は保証しません。
- 管理者アカウントでログオンしてからご使用ください。本ソフトウェアを起動するときに、管理者アカウントのパスワードを入力する必要があります。
- マルチモニター環境での動作は保証しません。
- 修復対象となるドライブやフォルダーに別のソフトウェアがアクセスし、本ソフトウェアと同時使用となった場合、本ソフトウェアの動作は保証しません。別のソフトウェアを終了してから、本ソフトウェアをご使用ください。
- 本ソフトウェアは、パーソナルコンピュータの内蔵時計が 1970 年 1 月 1 日 0 時 00 分以降の範囲に設定されている場合でのみ動作します。この範囲外の場合、起動できない、あるいは正常に動作しない場合があります。

オペレーション

AVCCAM Recovery の起動と終了

■ SD/SDHC/SDXC メモリーカードのファイルを復元します。

- ※ パーソナルコンピューターに SD カードスロットがある場合、スロットに SD カードをセットしてください。あるいは SD カードをセットした USB カードリーダーとパーソナルコンピューターを接続してください。(接続方法については、それぞれの取扱説明書をご覧ください)
- ※ SD カードをセットする前に、SD カードの書き込み保護スイッチをロックしておくことを推奨します。ロックしていない場合、復元を保証できなかつたり、復元されるデータ数が減る場合があります。
- ※ SD カードをセットしたカメラレコーダーとパーソナルコンピューターを接続し、復元することもできます。(接続方法については、カメラレコーダーの取扱説明書をご覧ください)

- 1 AVCCAM Recovery を保存先からダブルクリックして起動させます。
- 2 管理者アカウントの名前とパスワードを入力して [OK] をクリックします。



- 3 **A** をクリックします。



- 4 接続している SD カードドライブを選び、[次へ]を選びます。



フロッピーディスク、CD、DVD 以外のリムーバブルドライブが表示されます。

- 5 復元するファイルの保存先を選択してください。



- 6 [次へ]を選ぶと、SD カードの解析を開始します。保存先の空き容量が SD カード全体の容量（32 GB カードなら 32 GB）未満である場合、解析は開始されません。空き容量を確保してから、再度実行してください。また、SD カードの容量に応じて解析時間は長くなります。

- 解析の結果、SD カードの容量よりデータ量が増えることがあります。

- 7 復元対象が確認されると、確認メッセージが出るので [次へ] をクリックします。



復元が始まります。

- 8 復元完了画面が表示されたら [完了] をクリックし、起動画面に戻ります。

復元ファイルの確認

1 保存先のフォルダー内をご確認ください。

- AVCHD のファイル、DV のファイル、静止画のファイルが同時に復元されます。
- AVCHD のファイルを復元した場合に、復元したファイルを AVCHD 規格に準拠させるためには、後処理として AVCCAM Restorer で修復処理を実施する必要があります。以下の手順 2 を実施してください。
- DV のファイルを復元した場合には AVCCAM で再生できない場合がありますので、ご注意ください。手順 3 で確認してください。
- 静止画ファイルを復元した場合には、保存先フォルダー内に ¥DCIM および、その配下にフォルダーが生成され、その中に静止画 (JPEG) ファイルが復元されます。保存先フォルダー内にフォルダー ¥DCIM がなかったり、その配下にフォルダーがなかったり、その中にファイルがない場合は、復元できておりません。
- 復元した静止画ファイルをカメラレコーダーでご確認される場合は、カメラレコーダーでフォーマットした SD/SDHC/SDXC カードに、保存先フォルダー内の ¥DCIM フォルダーをコピーして、静止画記録に対応したカメラレコーダーの静止画再生モードでご確認ください。

2 AVCHD ファイルの場合の手順

- 1) 保存先フォルダー内の復元ファイルの確認をする。
保存先フォルダー内に **PRIVATE¥AVCHD¥BDMV¥STREAM** に拡張子が **MTS** のファイルがある事を確認してください。ファイルがない場合は、**AVCHD** ファイルが復元できておりません。
- 2) 復元したファイルをコピーする。
復元されたファイル (保存先フォルダー内の **PRIVATE** 以下) をカメラレコーダーでフォーマットした **SD/SDHC/SDXC** カードにコピーしてください。
- 3) 復元したファイルを **AVCHD** 規格に準拠させる。
(必ず実施してください。実施しない場合はカメラレコーダーで再生できません)
AVCCAM Restorer を起動して 2) でコピーした **SD/SDHC/SDXC** カードを修復してください。
(**AVCCAM Restorer** の操作については、**AVCCAM Restorer** の操作説明書をご覧ください。**AVCCAM Restorer** は当社 **WEB** サイト <http://panasonic.biz/sav> より無償でダウンロードも可能です。詳しくはサイト内の「サポート&ダウンロード情報」をご覧ください)
- 4) 再生確認をする。
3) 実施後、カメラレコーダーの **AVCHD** モードで再生を確認してください。

3 DV ファイルの場合の手順

- 1) 保存先フォルダー内の復元ファイルの確認をする。
保存先フォルダー内に **PRIVATE¥MEIGROUP¥SBGDVSD¥VIDEO** に **AVI** ファイルが存在する事を確認してください。ファイルがない場合は、**DV** ファイルが復元できておりません。
パーソナルコンピュータ上で画像ファイルをお使いの場合は、この **AVI** ファイルをお使いください。
QuickTimePlayer で再生確認もできます。
- 2) 復元したファイルをコピーする。
復元されたファイル（保存先フォルダー内の **PRIVATE** 以下）をカメラレコーダーでフォーマットした **SD/SDHC** カードにコピーしてください。
- 3) 再生確認をする。
カメラレコーダーの **DV** モードで再生を確認してください。
ファイルの状況により、修復がうまくいかない場合があります。この場合は、サムネール画面にクリップが表示できません。また再生もできません。

ソフトウェアを終了するには

起動画面の右下にある [終了] ボタンをクリックします。

Panasonic Corporation

Web Site: <http://panasonic.net>

© Panasonic Corporation 2010